

こんなときは

新潟日報紙「健康」欄に読者の質問に答える形で連載

Q：1ヶ月以上も性器にかゆみ

18歳の女性です。実は、もう1ヶ月以上も性器のかゆいのが続いています。いつとはなしに我慢できないかゆみが襲ってきます。陰毛が刺さってチクチクして、大陰唇の両側が熱く、赤くなっています。黄色いおりものも増えています。病院へ行くべきでしょうか。

(東蒲・専門学校生)

A：炎症の恐れ、検査・治療を早く

外陰のかゆみはおりもの(帯下)は、だれでも不快なものです。

帯下には生理的なものと病的なものがありますが、かゆみなどの症状を伴うようになると、何らかの治療が必要です。

膣や外陰にトリコモナスやカンジダ、淋菌、などによる炎症があったり、他の細菌感染などがあると、外陰が赤くなって腫れたり、疼痛やかゆみがあったりすることが多く、軟膏や膣坐薬などによる局所的治療が必要になります。ときには、口から抗生剤などの服用が必要なこともあります。

また、かゆみや帯下の原因には、これらの局所的な炎症の他に、全身的な病気＝糖尿病・内分泌環境の変化など＝、妊娠、精神神経症の原因によることもあり、医師の診察が必要です。

あなたの場合、大陰唇が赤く腫れて、かゆみを伴うことから、外陰の炎症と思われます。適切な治療をするためには、実際に診察しておりものを検査したり、場合によっては培養検査したりということが必要です。

局所の軟膏塗布などは、原因によっては症状を悪化させたり、再発を繰り返したりすることがあるので、早く産婦人科医で受診し、治療してもらいましょう。